

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **63113992 A**

(43) Date of publication of application: **18.05.88**

(51) Int. Cl

G11B 23/40

G11B 7/24

(21) Application number: **61260263**

(71) Applicant: **SEIKO EPSON CORP**

(22) Date of filing: **31.10.86**

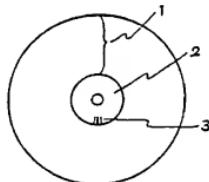
(72) Inventor: **OGURA YASUHIRO**

(54) OPTICAL TYPE RECORDING MEDIUM

(57) Abstract:

PURPOSE: To facilitate to provide an identification mark by providing a mark to identify the type of recording medium at a part except the memory area of optical type recording medium.

CONSTITUTION: A mark 3 to identify the type of optical type recording medium is provided at a label 2 except a memory area 1 of the medium. For the mark 3, 3 lines are used in the figure, and for example, for a reproducing exclusive-use type medium, 1 line is used, for an adding type medium, 2 lines are used, for a rewritable medium, 3 lines are used, and like that, the number of lines may be changed by the type of the medium. Since the difference in the reflection factor of the light of a mark and the part except the mark is easily detected by a sensor to some extent, for example, when the color of a label is white, the color of the mark is black. Thus, it is easier to provide an identification mark and the sensor and the circuit to detect the mark are simplified.



COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 昭63-113992

⑬ Int. Cl.
G 11 B 23/40
7/24

識別記号 厅内整理番号
A-8622-5D
B-8421-5D

⑭ 公開 昭和63年(1988)5月18日
審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 光学式記録媒体

⑯ 特 願 昭61-260263
⑰ 出 願 昭61(1986)10月31日

⑱ 発明者 小 棟 靖 浩 長野県頸領市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内
⑲ 出願人 セイコーエプソン株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
会社

明細書

1. 発明の名称
光学式記録媒体

2. 特許請求の範囲

(1) 光を用いて記録、再生または消去を行う光学式記録媒体において、記録媒体の種類を識別するためのマークを、記録領域以外の部分に設けたことを特徴とする光学式記録媒体。

3. 発明の詳細な説明
(前章上の引用分野)

本発明は光を用いて記録、再生または消去を行う光学式記録媒体に関するものである。

(技術的背景)

従来、光学式記録媒体には再生専用、追記型、書き換え可能型等の種類がある。そこで光学式記録媒体を用いる場合は、上記光学式記録媒体の種類の識別が必要になる。

従来の光学式記録再生装置では、光学式記録媒体を保護するためのケース(以下カートリッジとする)に折状または穴状の後山半抜(以下センサーホールとする)を設け、センサーホールを機械的に抜き出すことにより、光学式記録媒体の種類を判定していた。

前4図は従来のカートリッジの一例を示す平面図である。日々センサーホールであり、この例では4つの穴がカートリッジのすみに開けられている。

(発明が解決しようとする問題)

しかし、従来の技術では、カートリッジにセンサーホールを設けることに技術を要し、またセンサーホールを抜き出す機構が複雑で、部品数や開閉の面で障害となっていた。

そこで、本発明はこのような問題点を解決するためのもので、その目的とする所は、光学式記録媒体の種類を識別するためのマークが容易に設けられ、前記識別マークの後山微細の虚化により部品数の削減を計ることである。

(西端直を解消するための手段)

本発明は先を用いて記録、再生または消去を行う光学式記録媒体において、光学式記録媒体の種類を識別するためのマークを、記憶領域以外の部分に設けたことを特徴とする。

(実施例)

以下、本発明を実施例に基づいて詳細に説明する。

第1図は、本発明の光学式記録媒体における識別用マークを設ける場所の一実施例である。1は記憶領域、2はラベル、3は媒体の種類を識別するためのマークである。この例では識別用マークに3本の線が用いられているが、例えば再生専用媒体なら1本、追記型媒体なら2本、書き換え可能型媒体なら3本というように媒体の種類によって記憶領域を変更すればよい。また、マークとマーク以外の部分の光の反射率に差があるほどセンサでの検出が容易になるので、例えばラベルの色が白ならばマークの色は黒というようにする。

第2図は識別マークの設けかたの実施例を示す

図である。(a)は円状のマークを並びてセンサで本数を検出するもので、(b)はマークの形を円形にしたものである。(c)は(a)、(b)のようにマークの数で媒体の種類を識別するのではなく、その長さの違いで媒体の種類を識別するものである。識別用マークの形や数は、マークを検出するためのセンサが検出できる範囲であれば任意に変えることができる。また、マークはラベルに直接印字したり、シール状にして貼るなどすれば、いたって簡単に染りることができる。

第3図は本発明の光学式記録媒体に設けられた識別マークを検出するための装置の一実施例のブロックである。1は光学式記録媒体、5は識別マークの検出を行うためのセンサ、6は前記センサからの信号により検出信号を作る検出回路、7は前記検出回路からの信号により光学式記録媒体の種類を識別する識別回路、8は光学式記録媒体のドライブを制御している制御回路である。5のセンサには、例えば赤外発光ダイオードとフォトトランジスタが内蔵されているフォトインクリップ

を用いれば小型、軽量、さらに検出回路が簡単になる。尚、ここに挙げた実施例はあくまでも一実施例にすぎない。

(発明の効果)

以上に述べたように本発明によれば、光学式記録媒体の記憶領域以外の部分に前記媒体の種類を識別するためのマークを設けたことにより、識別マークを設けることが容易になり、またマークを検出するためのセンサと回路が簡単になるため、部品数が削減できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の光学式記録媒体における識別用マークの設け方の一実施例を示す図。第2図(a)、(b)、(c)は識別用マークの設け方の一実施例を示す図。第3図は本発明の光学式記録媒体に設けられた、識別用マークを検出、識別するための装置の一実施例のブロック図。第4図は使用のカートリッジの一例を示す平面図。

1…記憶領域

2…ラベル

3…媒体の種類を識別するためのマーク

4…光学式記録媒体

5…センサ

6…検出回路

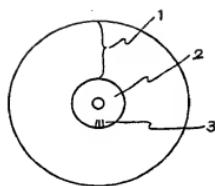
7…識別回路

8…制御回路

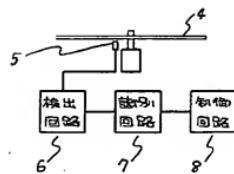
9…センサーホール

以上

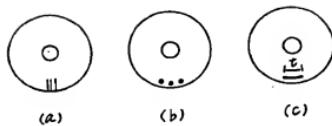
山口人 セイコーエプソン株式会社
代理人 井垣士 最上 勇治 1名



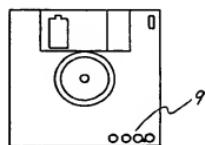
第1図



第3図



第2図



第4図